



氷見の魅力を全国へ届けませんか？ ふるさと応援寄附金(ふるさと納税)の返礼品提供事業者を募集しています

【問合せ】 氷見市ふるさと納税窓口 (株式会社ビッグゲート/本町16番15号)
☎30-3343 メールhimi@big-gate.co.jp

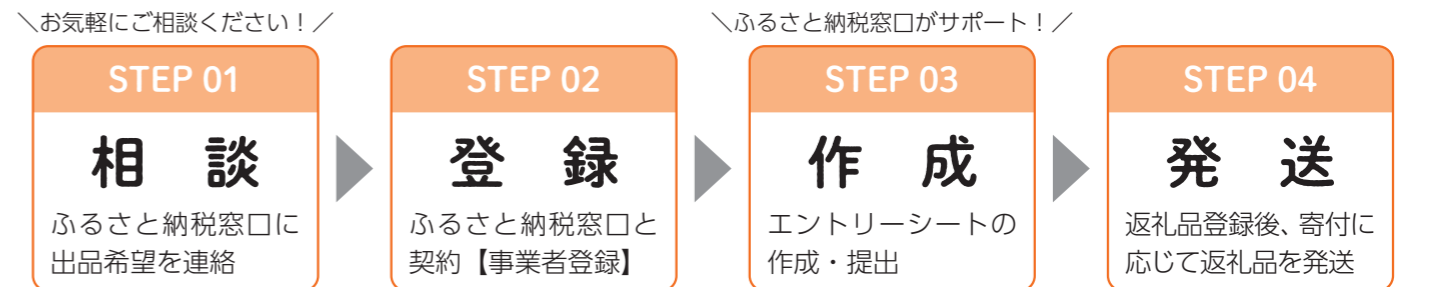
市では、市外在住の寄附者のうち希望者には、氷見市の特産品などを返礼品としてお届けすることで、特産品やサービスなどのPR・販路拡大と地域産業の活性化を図っています。魅力ある特産品やサービスを返礼品として全国の人に届けませんか！



返礼品提供の5大メリット

- ＼その1／
全国に商品をPRできる！
ふるさと納税ポータルサイト(現在22サイト)で商品をPRできます。
- ＼その2／
返礼品発送時に自社商品のカタログなどを同封できる！
自社商品のPRや販路拡大が期待できます。
- ＼その3／
事業者登録の費用負担はなし！
ポータルサイトへの掲載手数料は市が負担しますので、費用負担はありません。
- ＼その4／
返礼品の発送費用(送料)もなし！
返礼品の送料も市が負担しますので、費用負担はありません。
- ＼その5／
商品登録や掲載手続きは、ふるさと納税窓口がサポート！
ECサイト(ネットショップなど)未経験の事業者も安心！

返礼品提供までの流れ



※ふるさと納税ポータルサイト「さとふる」への掲載については、さとふるサポートセンター(☎03-6895-1883、メールcs@satofull.co.jp)へお問い合わせください。

返礼品の要件

- 国や市が定める基準に合致するもの
例：●氷見市産の水産物、肉、米、野菜、果物
●市内で製作された雑貨
●市内で主要な部分の加工がされた食料品
●市内施設の食事券、宿泊券、体験チケット

「自分の商品は対象になるかな？」
「発送はどのような流れ？」
「入金タイミングは？」

気になることは、なんでもお問い合わせください。
少量出品や季節限定商品、新商品のPRも大歓迎！

令和6年能登半島地震 支援情報

固定資産税における被災住宅用地の特例措置期間の延長について

能登半島地震で被災証明書の被害程度が半壊以上の公費解体等された住宅の敷地で、令和6・7年度分に被災住宅用地の特例を受けていた場合は、令和8・9年度分も特例が継続適用されます。ただし、特例措置期間内に、事業用など住宅用地以外に使用された場合は、特例措置の対象外となります。

詳しくは税務課までお問い合わせください。

【問合せ】 税務課 ☎74-8045



市HP

農業遺産だより No.21

氷見地域日本農業遺産「応援商品」募集中！



【問合せ】 氷見農業遺産推進協議会事務局(未来戦略課内)
☎74-8011

農林水産大臣から令和3年2月に「日本農業遺産」として認定された「氷見の持続可能な定置網漁業」。その内容は、氷見の地で長年にわたり定置網漁業と関わりながら営まれてきた農林業や水産加工業、食文化など、氷見の暮らしそのものとなっています。

その氷見の魅力や環境にやさしい氷見の定置網の特長などと一緒に、自社の商品を「氷見地域日本農業遺産応援商品」としてPRしませんか。「応援商品」に認定されると、その商品に氷見農業遺産のロゴマークの表記が可能となり、氷見農業遺産推進協議会のHPや広報ひみで応援商品やその販売事業者を紹介するなど、市内外に発信されます。

対象商品

- ・氷見地域日本農業遺産を応援する市内事業者が販売する商品で、ふるさと納税返礼品の基準を満たすもののうち、次のいずれかに該当するもの。
- ・氷見市内で生産された農林水産物
- ・氷見市内で原材料の主要な部分が生産された食品
- ・氷見市内で製造、加工その他の工程のうち主要な部分を行うことにより相応の付加価値が生じている食品



詳しくは協議会HP

購入はこちらから
「氷見の鮮魚 角安商店」

応援商品の紹介
事業者 有限会社 角安商店
応援商品 氷見直送 旬の鮮魚お刺身セット

発送日の朝、氷見漁港で競り落とした旬の鮮魚を加工し、鮮度を損なわないようにサクの状態でお届けします。全国屈指の魚の美味しい場所富山湾。氷見漁港の天然の魚をぜひご家庭でご賞味ください。

旬の商品詰め合わせのため、季節・気候により商品内容が変わります。同じ魚種も季節によって違う味わいがございますこともぜひお楽しみ下さい。

角安商店でお買い求めいただけます。

新連載！ 風景と人をつなげる！ 景観まちづくりNEWSLETTER

【問合せ】 都市計画課 ☎74-8078

景観計画と景観まちづくりプラン

私たちのまちの風景は、山や海、まち並み、建物、看板、暮らしの様子などさまざまな要素が重なり合ってきています。毎日の生活の中にある、とても身近で大切なものです。

氷見らしい風景は、その地形や風土、そして、多くの人々が守り、繋いできた歴史・伝統・文化に培われています。

これからも市民の皆さんとのさまざまな取り組みや活動を通じて、この風景・景観を守り、生かしていきたいと考えています。

この計画とプランは、建物や看板・広告のルールを定めて、まち並みを整えるだけでなく、人々を惹きつける「暮らしやまちを楽しむ活動」を生み出し、にぎわいのある「ひみ」を創るためのものです。

皆さんも身近にある美しい風景を観て、氷見の景観まちづくりを考えてみませんか？



景観をまもる・いかす・つくる・ととのえる営み



地域で愛される氷見らしい景観を目指して

昨年大きな話題となったのが、全国各地で猛威を振るったクマの被害です。山林の荒廃や餌不足などを原因として、クマが人里にも出没するようになりました。

氷見にとってもクマの被害はよそ事ではありません。長らくクマの生息が確認されていなかった氷見地域にも近年クマは生息範囲を広げ、たびたび目撃情報が寄せられています。

さて、北海道にはエゾヒグマ、本州にはツキノワグマが生息しており、縄文時代にはそれぞれ狩猟の対象となりました。遺跡からのクマ骨の出土は他の動物と比較して少ない傾向にあります。一方で、クマの犬歯や指の骨に孔を開けて装身具（アクセサリー）として用いる例が多いことがわかってきます。

これは北海道から九州まで共通してみられるもので、クマに対する特別な意識、その強い力を取り入れたいなどがあったと考えられています。

氷見では朝日貝塚や大境洞窟住居跡、上久津呂中屋遺跡でツキノワグマの骨が出土しており、その頃の氷見地域にもクマが生息していたことがわかります。朝日貝塚では、前述したようなクマ骨製のアクセサリーが出土しています。これは、成人女性の埋葬骨の胸元から出土した、首

飾りと考えられる骨角製装身具4点のうち1点で、赤く彩色された特殊なものです。また上久津呂中屋遺跡では、ツキノワグマの犬歯を利用したアクセサリーが出土しています。これらは、氷見の縄文人にもクマに対する強い思いがあったことがうかがわれる資料です。

現代人にとって今や脅威ではないクマ。遺跡出土の考古資料は、当時の人びとがクマをはじめとする自然とどう向き合ってきたか、我々に教えてくれる手掛かりとなるのです。

（博物館主査 廣瀬 直樹）



朝日貝塚出土骨格製装身具。右端の赤く彩色されているのがツキノワグマの骨を加工したもの。左3点は鹿角や骨で作られた装身具。



朝日貝塚の縄文人女性と骨格製装身具の復元想像図。こんな感じで身に着けていたのだろうか。

本連載は、来月号より「真ひみ未来遺産」としてリニューアルします！



本郷 智美 様

2/14 2100年の氷見の天気は…？ 防災気象講演会

近年、異常気象や自然災害の頻度が増えている中、防災意識を高めようと防災気象講演会が芸術文化館で開催され、防災士、消防団をはじめとした市民約500人が参加しました。

講師の気象予報士の本郷智美さんは、実際に雲を作る実験などを交えながら、地球温暖化を背景とした雪や雨といった気象の変化を話されました。また、今年から防災気象情報が変わることなども伝えられ、災害が起きたときの行動を普段から決めておくことの重要性を参加者は再確認していました。



2/15 ゆるスポーツの魅力を感じよう！ ゆるスポーツ体験会

年齢や性別、運動神経の程度にかかわらず楽しめる「ゆるスポーツ」の体験イベントが開催されました。講師に、(一社)世界ゆるスポーツ協会事務局長の萩原拓也氏を迎え、市内外から12人が参加しました。

参加者は、画面の上から落ちてくる「笑」「驚」「怒」のアイコンを同じ表情で消す「フェイスマッチ」や、表示されるピクトグラムと同じポーズをとる「ピクトグラミー」のほか、本市発祥の「ハンギョボール」などを体験し、ゆるスポーツの魅力を存分に楽しんでいました。

2/27 脱炭素×農業振興の取り組み 太陽光加納営農型発電所完成

発電と農業を両立する「太陽光加納営農型発電所」が完成し、完成式典が行われました。市の第三セクター・氷見ふるさとエネルギー(株)が整備したもので、営農型メガソーラーとしては北陸三県初の事例です。

加納地区の約1.8ヘクタールの農地に、太陽の動きに合わせて角度を変える追尾式パネルを設置することで発電量を最大化し、パネル下ではブランド米「富富富」を育てます。

年間発電量は約1,707メガワットアワー（一般家庭約620世帯分の年間電気使用量に相当）、発電した電力は、市内の公共施設や民間施設へ供給されます。



2月の竹馬イベントの様子

これまで関わってくださった皆さんに、心より感謝申し上げます。今後とも、どうぞよろしくお願ひします。

先日、呉西地区の協力隊の合同での活動報告会がありました。協力隊として過ごした日々を振り返ると、成果や取り組み以上に、地域の行事やサロンの集まりなど、活動の枠をこえた場面で声をかけてもらったことや、助けてもらったことが思い浮かびます。

協力隊としての任期中、特産品や竹林活用に関する30回を超えるイベントを開催してきました。これらの取り組みは、地域の皆さんや協力隊の仲間、そして家族の支えがあつてこそ実現できたものです。多くの人と関わる機会をいただけたことに、感謝しています。また、活動と子育てを両立する中で、保育園の先生方には大変お世話になっています。皆さんありがとうございます！

協力隊としての役割は3月末で一区切りとなりますが、これからも氷見で暮らし、この地域に関わり続けていく予定です。立場は変わりますが、またどこかでお会いした際には、気軽に声をかけていただけたら嬉しいです。

地域おこし協力隊7期の隊員が卒業しました

環境にやさしい 農業支援員



みかみ けい 三上 啓

活動内容
・にんにくをはじめとする野菜栽培や、加工品の開発
・竹林整備と竹の利活用の推進

3/6 安全に元気よく小学校へ 卒園児に防犯連絡袋贈呈

氷見市安全なまちづくり推進センターは、今年度卒園する市内の園児へ、防犯啓発用の連絡袋を贈呈しました。

贈呈式がみどり保育園で行われ、氷見警察署の署員が紙芝居で防犯標語「いかのおすし」にちなんだクイズを出すと、園児たちは元気よく答えていました。

その後、仏生寺地区安全なまちづくり推進協議会の松下さん、氷見ブルー実行委員会の三ノ宮さんから防犯啓発用連絡袋が贈呈されました。



4月2日～8日は 発達障害啓発週間

【問合せ】 福祉介護課 ☎74-8113
ふくし相談サポートセンター ☎30-2937

4月2日は国連の定めた「世界自閉症啓発デー」です。日本では、4月2日から8日までの1週間を、自閉症スペクトラムを含む「発達障害啓発週間」としています。この期間中、プラファシヨッピングセンターにて、発達障害がある人の作品を展示しています。ぜひお越しください。

コミュニティ助成事業の活用報告

【問合せ】 地域振興課 ☎74-8013



市では、宝くじの社会貢献広報事業として宝くじの受託事業収入を財源に実施しているコミュニティ助成事業を活用して、コミュニティ事業に助成しています。今回助成した活動を紹介いたします。

大浦自治会では、老朽化した獅子頭を新調しました。獅子舞を通して地域住民の交流が図られ、地域コミュニティの活性化が期待できます。





【問合せ】 図書館 ☎74-8226
(本町4番9号 教育文化センター1階) 電子図書館

図書館へ行こう

企画展示

一般開架室
●期間 4月1日(水)～12日(日)
●伝わる話し方
新年度が始まり、自己紹介する機会が増える春。相手に伝わる話し方や言語化に関する本を特集します。

児童読書室
●期間 4月16日(木)～5月7日(日)
●おおきいどうぶつ ちいさいどうぶつ
絵本特集。いろんな動物がいるけれど、みんなはどんな動物が好きかな？

電子図書館の特集「宇宙・星の本」

4月12日は「世界宇宙飛行の日」です。ガガーリンの「地球は青かった」という言葉は、名言として日本で広く知られています。
●期間 4月1日(水)～30日(木)

新着図書は、新着案内(図書館HP)をご覧ください。▶
図書館と市役所総合案内内では、新着案内の冊子を配布しています。



無料上映会

●日時 4月25日(土) 上映13:30～(開場13:10～)
●場所 教育文化センター4階ホール
●作品 故郷【日本映画】主演:淡島千景
沖縄の地元ではちょっと名の知れた名物マラソンお婆ちゃん。ある出来事をきっかけに一大決心をする。それは、自分の生まれ故郷北海道まで走ることだった。
●事前予約、申込不要 ●入場無料

おはなし会(児童読書室)

えいごでよみかきせ会 ～英語でお話を楽しみましょう～
●日時 4月12日(日) 10:30～
おはなしかい ～いずみの会の紙芝居・本の読み聞かせ～
●日時 4月25日(土) 14:00～

開館時間

火～金 曜日 9:30～18:00
土・日 曜日 9:30～17:00
●休館日 4月6日(月)、13日(月)、20日(月)、27日(月)、30日(木)

「広報ひみ」読者の
投稿による
読者参加コーナー

読者の ひろば

◆今月のテーマ(6月号で募集)
◆「朝の過ごし方・楽しみ方」
◆仕事に行く時は慌ただしいのですが、休みの時は新聞をゆっくり読んだりテレビをみたり、ナンプレをしたりして楽しんでいます。(ナカちゃん)
◆朝食後ゆっくりと新聞を読みます。世の中で起きていろいろのことを知る楽しい時間です。そして、8時からの連続ドラマを見ることが私の朝のルーティンです。(M・H)
◆朝はコーヒーを飲みながらインスピレーションを受け取る時間です。朝が来る喜びを感じながら。(マル)
◆「広報ひみの感想など」
◆私は氷見市に住んでいませんが、仕事で毎日来ています。氷見市はのどかで、ご飯も美味しく、山も海もあり、温かい人が多いことを知っています。これからも素敵な街になるように応援しております。(4階のみむ)
◆毎月、広報を楽しみに隔々まで見させていただいています。今、5人目を

獅子舞 大浦青年団

大浦の獅子舞は中学生から参加し、地区全体で大切に伝承しています。全10演目中の「タツツリ」は炎を囲んで獅子と天狗が舞う、迫力のある演目で、実演会でも炎の演出に引けを取らない圧倒的な躍動感を披露します。ぜひご覧ください。

【問合せ】 商工観光課 ☎74-8106
4月12日(日)
午前10時～11時(開場9時)

場所 大浦青年団
出演団体 大浦青年団
協力金 高校生以上の人には一人300円の実演協力金をお願いしています。(中学生以下無料)
席の予約 電話またはFAX ☎74-8104にて
①氏名②人数③電話番号 ※先着50席

編集後記 広報の担当となってもうすぐ2年。「広報さん、いつもお疲れ様！」そう声をかけていただける機会が増えたこの2年。震災後、被災者支援や復旧に関する記事を書き続けた2年でした。へこんでいた感情も復興へと向かう力強い足音に励まされ、気づけば自分も広報担当として成長？し、一人の市民として、氷見がもっと好きになりました。まちのあちこちで新しい芽が吹き始めている。小さな変化も見逃さず、皆さんと共に歩む広報であり続けたいと思います。これからも「広報ひみ」をよろしく願います！がんばろう氷見、北陸を元気に！(あ・わ・ん) ☎

感想や叱咤激励、疑問・質問などをお寄せください

今月のテーマ「春を感じる瞬間」

今月のプレゼント はしもとみお木彫展 ペアチケット

お便りをお寄せいただいた人の中から抽選で1名様にはしもとみお木彫展ペアチケットを差し上げます(当選者には後日通知します)。

◆応募方法
①氏名(ふりがな) ②ペンネームまたはイニシャル ③住所 ④電話番号 ⑤★シュリケンは何ページ？ ⑥興味を持ったコーナー ⑦広報ひみの感想などを記入の上、メール・はがき・FAXにて(裏表紙の応募用紙をご利用ください)
◆応募メ切 4月6日(月)必着
◆応募・問合せ ☎935-8686 (住所記載不要) 氷見市広報戦略課広報担当(裏表紙の宛先をご利用ください) ☎74-8012 FAX 74-0692 メール kouhou@city.himi.lg.jp 市公式LINE
◆★シュリケンの掲載ページ 3月号の正解は7ページ ※応募多数など、掲載できないこともあります。作品の著作権その他一切の権利は氷見市に帰属します。

氷見の「今」が分かる情報番組！

毎月第1日曜日は「サンデーひみ」
4月号は 4月12日(日) 10:00から放送



新しいこと盛りだくさんの春。アブガシマテラスのプレオープンや氷見駅のIC改札導入など、この春スタートした氷見市のあれこれをご紹介します！
いきものたちそのものを彫刻で表現する、はしもとみお木彫展が4月25日から始まります。GWの芸術文化館情報や春中ハンドハイライトもお見逃しなく！

能越ケーブルネット(ひみちゃん9)とYouTubeチャンネルでご覧いただけます。(ひみちゃん9の番組表は22ページ)

1歳になりました



令和7年4月生まれのお子さんを募集します！
①お子さんの氏名・ふりがな ②住所 ③生年月日 ④応募者の氏名・続柄 ⑤日中に連絡がとれる電話番号 ⑥「広報ひみ」の感想を明記し、写真とあわせて市公式LINEまたは郵便でご応募ください。(写真は返却しません)
■応募メ切 4月6日(月)必着
■申込・問合せ ☎935-8686 (住所記載不要) 氷見市広報戦略課「1歳になりました」係 ☎74-8012

ひみSDGs推進パートナー紹介

ひみSDGs推進パートナーにご登録いただいている皆さんを紹介します。【問合せ】 未来戦略課 ☎74-8011

ひみ花とみどりのフェスタ実行委員会
親子向けワークショップや緑花木、花苗の販売など多彩なブースを設けた花とみどりのイベント「ひみ花とみどりのフェスタ」の開催などを通して、快適で潤いある花とみどりがあふれる街づくりの推進を目指します。
今年5月30日(土)に開催となりますので、ぜひ海浜植物園にご来場ください！

あなたが思う、氷見ブルーを見つけよう！

何度でも
相談無料

売り上げアップの
頼れるミカタ

「Himi-Biz」通信 vol.27

サポート実績

「氷見ブルー」フォトコンテスト開催中！

氷見の日常に溢れる「青」に着目し、「氷見ブルー」をシンボルカラーとしてブランド化し、地域の新たな魅力を創造する、氷見ブループロジェクト。現在、「氷見ブルー・フォトコンテスト 2025-26」を開催中！海越しに見える立山連峰や氷見漁港の朝セリ、氷見ブルーのグルメなど「これぞ氷見の青だ」と感じた写真を募集します。応募作品は、ホームページやSNS、ポスターなどで広く活用させていただきます。あなたの撮った、とっておきの1枚をお待ちしています。



申込フォーム

応募方法

- ①申込フォームから
- ②氷見ブルー公式インスタグラム (@himibblue2025) をフォローし、「#氷見ブルー2025」をつけて投稿。その際にキャプションに撮影場所と一言を記載してください。



開設5周年イベント開催！

2月12日(土)にHimi-Biz5周年イベント「氷見を動かす次の一手。若手経営者たちの挑戦」を開催し、約80人にご参加いただきました。これからもHimi-Bizは市内事業者の売上アップを全力で応援していきます！



氷見市ビジネスサポートセンター
予約・問合せ ☎ 75-3640

受付時間 9:00~17:00 (土・日曜日・祝日を除く)
メール info@himi-biz.net
所在地 氷見市本町14-7



シニア向けスマートフォン教室

スマートフォンの基本操作や便利なアプリの使い方を学びませんか。

日時 4月10日(金)・24日(金)
各回14:00~16:30

場所 芸術文化館 定員 各回10人

申込・問合せ 能越ケーブルネット(株)
☎ 0120-040-720 (9:00~17:00) (担当 行政改革推進課)

電話のかけ方
写真の撮り方
LINEの使い方



氷見市公式LINEと友だちになろう！

緊急情報やイベント情報などを配信中！
夜間・休日の診療当番医や緊急時の避難経路も確認できます。
受信設定をすると、欲しい情報だけを受信することができます。詳細は市HP



問合せ(代表・緊急時)

- 氷見市役所 代表電話 ☎ 74-8100
- 火災や救急指定病院の問合せ ☎ 22-9999
- 防災行政無線の放送内容問合せ ☎ 0120-134-151
- 災害などの情報提供・問合せ ☎ 74-8021 ☎ 74-8100 (夜間)
- 漏水連絡 ☎ 74-8209 ☎ 74-8100 (夜間)
- 火災情報・災害時の道路情報 ケーブルテレビ 9ch (091ch/092ch)

人口と世帯数

3月1日現在 (カッコ内は前月比)
総人口 40,981人 (△76人)
男 19,750人 (△38人)
女 21,231人 (△38人)
世帯数 17,184世帯 (△8世帯)

※住民基本台帳人口・世帯数を掲載しています。

2月の人口動態

出生 8人/死亡 69人
転入 44人/転出 59人

交通事故発生状況

3月1日現在 (1月からの累計。カッコ内は前年比)
人身事故件数 7件 (+5件)
負傷者数 11人 (+9人)
死者数 0人 (±0人)

感想や叱咤激励、疑問・質問などをお寄せください！(詳しくは、前のページをご覧ください)切り取ってはがきに貼り付けてください。

《読者の投稿 宛先》

〒935-8686
氷見市広報戦略課 広報担当 行
(広報ひみ 令和8年4月号)

《読者の投稿 応募用紙》

ふりがな
氏名 _____
ペンネームまたはイニシャル _____
住所 〒 _____
電話番号 _____
★ シュリケンは何ページ? _____
興味を持ったコーナー _____
広報ひみの感想など(今月のテーマ) ※はがき余白に記入してください。